

映画のことと手当り次第 ⑨ 淀川長治

まあ最近で一番面白いのはバートンとピーター・オートウィールの「ベケット」で、これはヘンリー二世と十五歳年上のベケットの同性愛なんだけれど、それが英国の歴史とアヌイの美術的脚本で目もくらむ美しい男の物語りになっている。そんなややこしいのはテンデ嫌いの人は「カミカゼ救急車」という英国映画のドタバタ喜劇をこらんあれ。これはスラップスティック・コメディの妙見本。ところが右も左も映画がイヤラシクなくて、もうもう男女のハダカだけは真平ごめんの人は「野のユリ」をおすすめする。これはクリスマス・カードの美しさであり、しかもこれでアカデミー賞をとっちゃったシドニー・ポイチニアの演技がすばらしい。こんな心やさしく美しい映画、そうざらにありません。いや、もう少ウッおませな映画でそれでフンワリとニュー・ムードのある映画？なんて生意気な人には「マリアン」の友だち……これはニューヨークの十四歳の女の子が、どんな感覚で暮らしているか、その十四歳が美しく悲しく面白く残酷でもう私のころの十四歳とすっかり変っちゃった……なんて何時も私たち大人は嘘をつく。やっぱり、おんなじなんですわねえ。あの十四歳。そう、あのとおり私たちも。

×

と云うぐあいに今日は太急ぎのギューギューづめ。と言うのも、どうも「神戸」が「映画」に弱くなってるみたい。アート・シアターなんかどうなってますかね。それに、もうれつたる映画の情熱ファンで今もいるのでしょうか。そんなグループはあるのでしょうか。

こないだビックリしましたねえ。デイズニイ・ランドの話聞いたのです。あれは八年前に出来たから、もう

ひととおりアメリカ人は見ちゃったネ……と言ったら、とんでもない、あれは毎年毎年なにかがふえてるんですって。デイズニイは朝から晩まで、どうしたらお客を楽しませるか、こればかりを考えてるんです。これはPRとしてもですね、最近では巨象が二頭、それに「南海漂流」のあの巨木の上の家、これを作ってデイズニイ・ランドにたつた昨日移したばかり……とはあちからこちらのデイズニイ支社に電報。そんなことまでいちいち電報。子供ばかりなのでアルコールはいっさい駄目。ところがジャリの父兄がそれでは辛い。と思つたら実はここには立派なホテルが門の外にあってモノレールでスーッとそこまで運んでくれて、そこでホテルの入口でこの親父たちが、いくばくかを支払つて手にボンとスタンプを押して貰うと酒場で一杯呑める。ところがそのボンのスタンプゼンゼン手の上に何のけいせきも残さない。それが酒場でしが、光線をかけるやアリアリとスタンプ文字が現われる。

ついでに子供もジュースやコーヒー。これも入口で金を払つてただ歩くだけ。細い廊下のつき当りで、ジュースが待っている。コーヒーが待っている。切符なし、なんにもなし。これじゃ金を払つて心配、そんなケチな気分をまっ殺するだけ。このサーヴィスは正しくまちがいなしにジュースその他を吞ませている。その廊下、それじゃ子供が走って他の子供より先きに向うに着く……これが出来ない。と言うのはみんなの歩くスピードを計算、それ以上早く走つたとして自分の註文のジュースは出てきやしません。なんたる仕掛けのその見事さ。そのジャリ教育。

と云うわけで、このデイズニイ精神を映画館に用いた

のが山形県酒田の「グリーン・ハウス」。この映画館二階の一隅に日本間がある。二畳のタタミのきょう、そく、タバコ盆にそれに部厚いザブトンにお茶一式。この日本間は、母の日、老人の日のプレゼントにその切符当日数日前早くも売切れ。この映画館は二階のロビーの一隅にもう一館映画館を持っている。

映画館の中の映画館は世界ここ一つ。椅子席は十個でそれは十のソファ。入場料はただの百円で十人で満員。一日五回上映。私の覗いたときは「赤い靴」これを五人が見ていた。

もちろんタバコOK、それにお茶のサーヴィスもす



写真上は「ベケット」のピーター・オートウールとリチャード・バートン



写真左は「野のユリ」左がシドニイ・ポイチュア



写真下は「マリ안의友だち」

る。ここの映画館のおトイレには三面鏡の上に化粧水が用意、子供を寝かすベビー・ベッドがあつて、これはおトイレ感覚はみだして田舎のおばさん五人がここでリノリウムとその真赤な色の上にベタリ坐ってべんとう喰べたと言う。花（本物）が四隅に飾られテーブレットから小さな音で音楽と小鳥の声がたえまなく流れてくるおトイレ。と言うわけで、神戸がそんな映画館を作って西洋人をびっくりさせて夢の超特急で東京から客を呼ぶくらいのそんな元気を誰かが見せてくれたなら、私はその人に、命を捧げておかまわない。（映画評論家）



「ドングリ コロコロ ドングリコ

オ池ニハマツテ サア タイヘン……」

キャプテン・ルームのラジオから日本の童謡が静かに流れていた。

西ドイツ貨客船「フランクフルト号」(M.S. Frankfurt)のキャプテン・ヒーニッツは真白の半袖、半ズボン、ストッキングという夏服姿でまったく軽快そのもの。ただ肩章の金筋がいささかいかめしい。スラリとした長身。それもそのはず一九〇センチはあるという。金茶色の頭髮には櫛の目がよくとおり、自然なウェーブが美しい。灰色の腫が人なつこい光をたたえ、大きな耳たぶが印象的だ。

「キャプテンはとても親日家だとか……」

「シユアー、シユアー(力強く)日本人は勤勉ですばらしいね。私はセコンド・オフィサーの時から日本にきてますが、そうですね、もう十五年にもなりますかね。故郷ですか? 生まれた町はドイツの東部でハレエ(HALLE)という所です。美しい町で(うっとり)医学で有名な大学のある町ですよ。人口は二万五千人。ここで私は一

Captain Interview No. 5

こんにちは 船長さん

フランクフルト号
(西独貨客船)
ヒーニッツ船長

●きく人 玉 奥 章

カメラ/浜 岡 収

一九一五年十二月十五日に生まれましてね。船員になったのは一九三三年十八才の時です」

「はじめて航海された時の印象は?」

「すばらしいの一語につきますね。こどもの時から海にあこがれていたもので、ハンブルグ、ケープホーン、チリと九十日間の航海でした忘れられませんが」
日本にはじめてきたのは、一九三六年二十一才の見習士官の時だという。

「キャプテンになって神戸にきたのは、三年前で本船のシスターシップ「ハノーバー号」でしたよ。そりゃなんといってもキャプテンになって来るのは嬉しいですよ」

西独にはハンブルグ・アメリカン・ラインとノース・ジャーマン・ロイドという二つの代表的な船会社があるが、フランクフルト号は前者の所属である。現在三隻を新しく建造中でこれといると五十七隻の船を保有するという大きな船会社だ。お気づきのようにフランクフルト、ハノーバーという船名はすべてドイツの地名からとったものだ。フランクフルト号の大きさは八七六九総トン、積載時は九九四四トン。乗組員九十名、乗客八十六

名、速力十七ノット、船齡は十年という。外観はありふれたものだが、船内はなかなかシックで落ち着いた色調に満ち、サニタールーム、サロン、ロッジ、遊歩甲板もこつてゐる。壁面にはモザイクばりの壁画がかかり、その中にはハンブルグの町のたたずまいも見受けられたが、旅人には、ひそやかな郷愁を感じさせることであらう。

「神戸港について？ オーツ(ゲンと身をのりだして) ナイスポート。しかし月末に船が集中しすぎて岸壁につけず荷役がぜんぜんできない。そのため三日間は沖でまたなくちゃならないですよ。一日の繫船料が二千五百ドル、三日だと七千五百ドル。タイムイズマネ、イヤーザツツライト、タイムイズマネ。これは早急に改善しないとだめですね(強い口調) 労働者も少ないし、これだとせつかくの製品の輸出がおくれる。会社も国も大きなマイナスですよ。日本のメインポートなんだからね。その点名古屋は将来日本一の港になると思うね。港の設備も労働者もいから。港の機能が第一ですよ。全く神戸はその点が惜しいね」

神戸に入港するとすぐ野菜とタマゴをいっぱい仕入れるのはドイツ船の特徴だという。品物が新鮮であることは申すまでもない。香港では絶体仕入れないそうだ。

「ホームポートはハンブルグ。大きな港で景色もいいよ。私の家族？ そうハンブルグにいます。ワイフと娘とがね。娘ですか？ 五才で一人っ子です」

室内のステームパイプの上の小さな棚にキャビネ版の写真が額にいれて飾ってある。美しい女性の写真は、ヒートニツツ夫人だ。その横に双眼鏡がおかれていて対象的だ。「美しい方ですね、まるでキム・ノバクのようによ」

ニツコリと笑ったキャプテンは、写真をしばしみていたがポツリと「三十七才になります」といった。

カメラ好きのキャプテンは、カメラマンの使っているカメラに興味を示し、キャノンはいいいカメラだとしきりにほめそやす。ミノルタ、ニコンもすきだという。話が



はずむとカタログまで持ちだす熱心さ。

「日本のコーヒーはとてもおいしいね。野菜のてんぶらはすばらしいよ。神戸のステーキはたまらないね。三宮の小さな店だが、ミヤス」この鉄板やきには感心しますよ。お好み焼も大好物の一つです」

お好み焼が好物とはこちらが恐れ入る。果物もおいしいが、今でているブドウや桃の味は日本のものと力説するキャプテンである。ドイツといえばビール。ビール党の多いのは南ドイツで水のように飲んでいるが、北ドイツではそれほどないそうだ。

ハンブルグ港が今年で開港七百七十五周年を迎えるが、これに因んで二日後に入港するハノーバー号がハンブルグ市長から神戸市長へあてた記念品を運んでくるといふ。「富士山はすばらしいね。とてもすばらしい。私たちの間では清水沖を走る時、この富士山がみられると必ず日本にまた来られるというジンクスがあります。やはり何度もきたいものですから富士山とお別れするとき心をこめて、AUF WIEDERSEHEN」(親しい中でのさよならの意 See you againと同じ意) では、AUF WIEDERSEHEN」(提供・神戸銀行)

秋のおとずれに
まる喜の美しい草履



趣味の履物

まる喜

神戸三宮センター街 電話 33 4 4 7 8

呉井保藏

みよーや

神戸 大丸 前
電話神戸 33 三三八八 九番
大阪店 阪神百貨店三階
電話大阪 〇五五四八番
姫路店 やまとやしき百貨店三階
電話姫路 〇三一二二一番
衣裳部 三宮町三丁目柳筋
電話 33 五一六五番

きもの



さわやかな秋風が、きものの裾を横切るとき、菊の花模様が優しく揺れて、道ゆく人の心にほのかな柔らぎを呼びおこします。秋はきものの美しい季節です。

きものブームも浸透して、その良さ、洪さが再認識され、若い人のきもの姿も多く見かけられます。しかし洋服の暮しが普通となっているこの頃では、きものの着こなしや選び方も大変違ってきました。そこで、ミナト神戸にふさわしいユニークな和装専門店「ちんがら屋」の三角常夫社長に、最近のきものの傾向をいろいろとお聞きしてみました。

*若い人のきもの

「今までのお嬢さん方ですと、お母さんのお見立てのきものだけでよかったのですけれど、今はきものを色できてみたいとか色を統一してみようといった洋服のセン

スをきものに求められています。私たちも国際都市神戸で、世界の高級品を相手に絶えず感覚を磨いて、ブルー、ベージュ、チャコールグレーなど服地の色をとり入れて、新しいきものづくりに専念いたしました。例えば、慶長小袖の非のうちどころのない構図に、色彩を現代的に配したり、異国的な感じの花を極めて単純な配色にするなど〈豊かな色想〉を追求しています。最近では洋服の方が国産品をつくるとき、逆に、きものの柄や色をとりいれています。それだけきものも進歩してきたと言えるでしょう。だから今の若い人のきものは、色で着る」ということが着こなしのきめ手になっていると思います。

*洪いきもの

「若い人は色で着る傾向ですけれど、正月やパーティ

儀式は別として中年の女性の方はきものを「渋さで着る」「味で着る」というきこなしになってきました。今、欧州滞在中のローケツ染作家木村孝さん（映画「夜の河」主人公のモデル）が、『きものは何を持っていったらいいかしら』とご相談に見えまして、その時私は、振袖のようなきさらびやかさだけが日本のきものの良さだと思われては困るから、外人のかたにも日本のきものの渋さを味わっていただきたい。だから草木染の手織袖を、日本のままの寸法で、日本のままの気分で着てみてください、と数枚の袖をおすすめしました。最近ロンドンに滞在していらっしゃる木村さんから、『日本ブームとあって、袖の渋さが大変うけています』とお便りがあり、非常に嬉しく思いました。『渋い』ということばが、アメリカなどでもそのまま通じるような時代ですから、中年の女性のきものは、伝統ある日本の渋い、心をこめてつくった人の気持が通うような、また安らぎのあるきものを身につけていただければと思います」

＊きものの買い方 楽しみ方

「私は女の人の、命」の次に大切なものは、服飾の裏がえし、だと思っています。ですからもし、きものをご自分で買われるときも、そこまでの真剣さがあっていいのではないのでしょうか。そこで買っていただく時は、ま

ず商品知識の豊かな、センスのいい販売員に、ご相談になられて、『バランスのとれたきもの』を選ばれることが大切です。最近アンサンブルとして、きもの、帯、帯メ、帯揚げなどを組み合わせて整えられるかたがいっぱいありますが、色、デザインを年に応じて選ばれるので、調和のある美しいきものいちばん上手な買い方でしょう。一枚づつ整えられるかたでも、先に買ったきものをもつてきて、帯を合わせるぐらいの心づかいをお願いしたいと思います。超特急ひかり号の走る昨今、東京、大阪、神戸などの都会も、流行の早さは同じようなものですが、そのなかでも阪神間の人たちのセンスは素晴しくあかぬけたものです。それだけに私たちも「ユニークなセンスを売る商人」でなくてはなりません。今世界の祭典オリンピックが日本で開かれています。このオリンピックを機会に、日本のきものを民俗衣裳として、ほこりを持って着てほしいもの。買っていたいてもタンスのコヤシではせつかくの美しいきものが可哀想です。タンスからとりだして、たもとの袖に手を通して、帯をしゃっきりと結んで神戸の町をあるいてこそ「生き生きしたきもの」であると思います。きものを楽しく着ることが、世界の人々の眼にこよなく美しい日本としてうつることでしょう」



モデル写真は婦人画報社「美しきもの」掲載のもので、きものはいずれもちんがら屋提供のものです。

好きなきもの 岡部伊都子



一年中きもので外出することの多い私だから、いわばきものが仕事着である。いつ、どこで、どうなるかもわからない人間存在のもろさをよく自覚しているだけに、やはりいつでも好きなきものを身につけていたい。戦争の最中、次々と都市の焼けてゆく日々に、モンペの下に紫りめんのきものを着こんでいたのも、せめて……好きなきものに包まれていのちを終りたいという感傷と、美しいものをすべて許さなかつたいやしい風潮への反撥とからだだった。

ところが私にとっての好きなきものというのは、ただ高価な、きらびやかなものではない。自分の心にぴったりの色彩や柄をもった着やすいきものなのである。だからこんなにたくさん美しいきものが生産される今日、かえってなかなか好きなきものにめぐり合えない。自分に似合う色も、刻々に変化してゆく。ほんとに好きなきものはその色彩の探求や追求の努力の要る、自分の働きかけを通じて創

作されるものといえるかもしれない。いま、私が手を通すのを深いよろこびとしているきものの中には、十八才や十九才のころに求めたものが案外多い。そのころは欲しいきものにめぐり合いながら「あんまりもつたないから」とみずからをたしなめて買わなかつたりすると、夢にまでみたものだ。だいたい、少女のころは一生洋服で過す願いを持っていて、きものに冷淡でいた私だから、その私が夢にみたきものは、よほど気に入っていたのだろう。

とつとつ昔に美しい色のついた、甘いきものの夢などみななくなってしまうて、きものことを書くのが面映ゆいくらいである。けれど、湿度の高いこの国の風土に合う自然の花や雨や山や川を描きこんだ柄、この空に育てられた淡い色、風通しよくあたたかなきものに包まれて暮すのは安心なのだ。いくら年代を重ねても、着るのがうれしくなるきものは、私のいのちの友人である。

〈随筆家〉

きものと細貨

おんがら屋

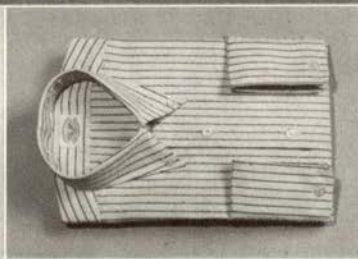
神 戸 西 店 / TEL 33 8 8 3 6 (代)
東 東 新 橋 店 / TEL 33 0 6 2 9
銀 座 店 / TEL (571) 0 8 0 7
小 松 ス ト ア 地 庫 / TEL (572) 5151 (代)

秋空のもと聖火がかけて
若きいのちが燃える



男子洋品の店
フナキヤ

元町通3丁目 ㊟3617



紳士シャツ
大和屋のシャツ

三宮センター街 ㊟6956



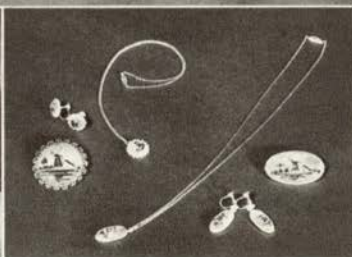
あらゆる電気製品の店
元町電機

元町通6丁目 ㊟3701~5



紳士洋品の店
サカ工

元町通2丁目 ㊟7885



美しさを創る洋装店

装 苑

三宮店・三宮町1 ㉔2038
六甲店・灘將軍通 ㉔1717

FASHION ACCESSORY

AKIRA

三宮センター街 ㉔4895

舶来服飾

マルエス

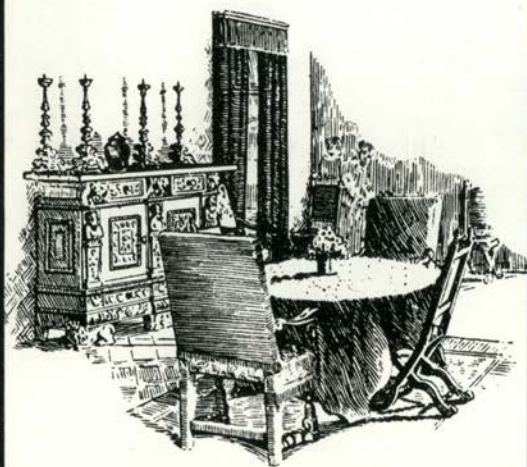
元町通3丁目 ㉔6541

舶来雑貨とステッキの店

ステッキ オカダ

三宮生田筋 ㉔1198

家具・室内装飾・工芸品

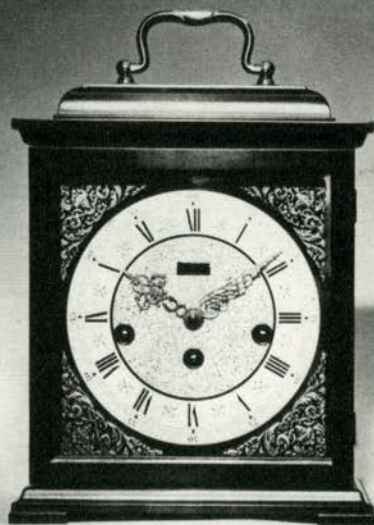


永田良介商店

大丸前 TEL { ③9 3 7 3 7
3 7 3 9

Kienzle

Made in Germany



特約店



美田時計店

神戸・元町3丁目
TEL 33-1798-8798

パリには、地上にあるあらゆる職業が存在すると、あ
ごをあげて得意気にフランス人学生はいう。つまり、生
活の快適さは世界一ということの強調の意味だったが日
出づる国の人はじゃあ、ダフ屋はいるかいと言おうとし
て、あわててやめた。

しかし、会話を続けるのがエチケットであったから、
こう言ったものだ。倅約家でならずフランス人は、古い
物をどこに処分するのかと。あご髭を貯えたこの少年は
フランスには、ないものはない。したがって廃品
回収業もあると教えた。ところがパリに
来て二カ月余り、随分街も歩き廻っ
てみたし、早起きもしてみたが、
かの職種には未だ巡り合ったこ
とがないぞとうったえろと、
よしきょうは、その職業の
確認をさせてやるというの
で妙なことから、午後の約
束ができてしまった。

そこでパリは東の端、メ
ニエモンタンの坂道を上っ
た横町に行くことになったが、
路地の石だたみのあちこちでパン
のかけらを拾うハトを散らしながら
歩くとやはりあったのである。古着から
空の口紅ケースまで積んだ手押車が数台。
そこにいた人の好きそうな年寄りが一人しっかり
と眼鏡をかけ直し、ジャポネかと顔をのぞきこむ。念を
おしてから最近、日本製品は商売にならないという。壊
れないのだそうだ。急に勢いをえた日本人は遠慮しなが
らも、その旺盛な知識欲？ から質問をここみた。「こ
こにある三本脚のイス、錆びた鍵の行方はどこか」こん
なことからはなしは、パリの名物ノミの市につながる
ことになり、ノミの市のご紹介をしなければならぬ。

ポルト・ド・クリニャンクールで地下鉄を降りて、う

ノミの市 佐藤 昭

す暗い長い階段を昇ると、ノミの市界限。ハタハタと風
に天幕をはためかせて、立ち並ぶ間に二メートルばかり
の店が市二メートルくらいの通路をはさんでギツシリあ
り、その広場を抜けると家具、骨董品を売る大きな店が
続き、フリット（ジャガイモを油で揚げたもの）の香り
にまじって、大道芸家の奏でるバイオリンの音、シャ
ンソン、下町ムードの満ちあふれるところが、ここノ
ミの市。

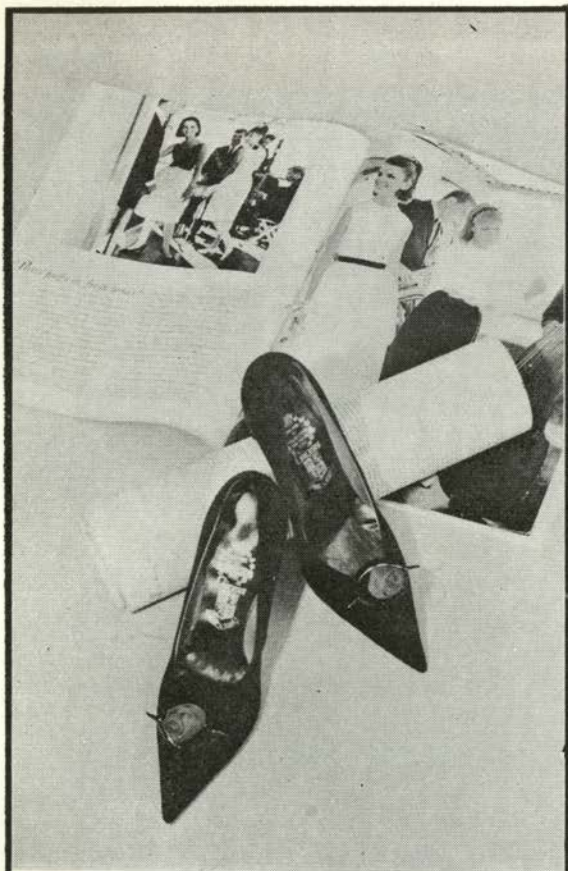
コンビアン（いくら？）を連発した結果、たとえ
ば針のない時計が十フラン、五ツ揃い
のコーヒークップが四フラン、何に
使うのか不思議なのが錆びた鍵で
二フラン、そしてまたニッポン
では即日売切れ必至の勲章も
輝やいていた。（これはモ
ノによりおねだんはいろい
ろ）。その中に、日本製、
水中花も二フランとお高い
値段にもかかわらず人気を
集めていたこともご報告して
おこう。

需要と供給のハダカの場合ノミの
市。骨董品の価値を愛でるもの、実
用に供するもの、人それぞれの思いで
雑沓のノミの市。

市の北端にある。
（フランは約七十三円）

（美術装飾部門留学生・在パリ）





靴の専門店 **クロス**

神戸 トア・ロード 大阪 阪神百貨店

TEL. ㉸0998 TEL. ㉸1201

代表 ㉸1781

40年10月には三宮地下街に出店致します



美しさを創る...

アスター・ニュートン

トア・ロード㉸1818